

登録番号	プロトコール名			
C90-35	多発性骨髄腫 KId療法(C13以降)			
診療科	血液内科	1クールの日数	28日	
審査日	2017年1月30日	所要時間	20分	適応外使用 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
適応病名	多発性骨髄腫	放射線療法	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
実施部署	<input checked="" type="checkbox"/> 外来、 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟、 <input type="checkbox"/> その他()			
適応分類	<input type="checkbox"/> 初発、 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発、 <input type="checkbox"/> 術後補助、 <input type="checkbox"/> 術前補助、 <input type="checkbox"/> 超大量、 <input type="checkbox"/> 遺伝子、 <input type="checkbox"/> その他()			
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1、d8等)
1	カルフィルゾミブ(カイプロリス®)・K	27mg/sq	d.i.v.	day1,2,15,16
2	レナリドミド(レブラミド®)・L	25mg	p.o.	day1-21
3	デキサメタゾン(レナデックス®)・d	40mg	p.o.	day1,8,15,22
4				
5				
6				
7				
8				
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)			
ガイドライン文献名	Carfilzomib, Lenalidomide, and Dexamethasone for Relapsed Multiple Myeloma (N Engl J Med 2015; 372:142-152)			
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	カイプロリス減量規定;体表面積が2.2m2を超える場合、体表面積2.2m2として算出。クレアチニンクリアランス(Ccr)が15mL/分未満となった場合には、本剤を休薬。Ccrが15mL/分以上まで回復した場合には、投与の再開を検討。透析を要する場合には、再開時の用量として20mg/m2を超えないこととし、また透析後に投与。			

プロトコールに関する解説	
<p>プロトコールに関する解説はありません。</p>	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
多発性骨髄腫 KId療法(C13以降)		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1,2,15,16	① 5%glu 50mL(プライミング用) ② カイプロリス 27mg/sq + 5%glu 50ml 10mg製剤の場合は5mL、40mg製剤の場合は20mLの 注射用水で2mg/mLの濃度にて溶解 ③ 5%glu 50mL(フラッシュ用)	点滴静注 点滴静注 点滴静注	5分 10分 5分
day1,8,15,22	レナデックス錠 40mg	経口	1日1回
day1-21	レブラミドカプセル 25mg	経口	1日1回
プロトコール 適応時 表示コメント	レナデックス錠40mg内服(d1,8,15,22)。レブラミドカプセル25mg内服(d1-21)。 カイプロリス減量規定;体表面積が2.2m2を超える場合、体表面積2.2m2として算出。クレアチニンクリアランス(Ccr)が15mL/分未満となった場合には、本剤を休薬。Ccrが15mL/分以上まで回復した場合には、投与の再開を検討。透析を要する場合には、再開時の用量として20mg/m2を超えないこととし、また透析後に投与。C19以降はLd療法に移行		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄:)		